

令和 8 (2026)年度

施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査（市民アンケート調査）報告書

令和 8 (2026)年 6 月

栃木県真岡市

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査対象地域	
	(3) 調査対象者	
	(4) 抽出方法	
	(5) 調査方法	
	(6) 調査期間	
	(7) 回収状況	
2	調査の結果	3
	【回答者の属性】	
	性別	3
	年齢	3
	居住地区	3
	職業	4
	【真岡市の満足度について】	
	問 1 居住満足度	5
	問 2 真岡市の施策（18 項目）に対する満足度	6
	問 3 永住意思	9
	問 4 幸福度	9
	【真岡市のイメージについて】	
	問 5 「日本一のいちごのまち」	10
	【市民協働のまちづくりについて】	
	問 6 地域活動への参加状況	11
	【健康づくりの推進について】	
	問 7 健康づくりの取り組み状況	12
	問 8 健康づくりに関する言葉の認知度	13
	【生涯スポーツ・レクリエーションの振興について】	
	問 9 スポーツやレクリエーションの活動状況	14
	【地域医療体制の充実について】	
	問 10 かかりつけの医療機関の有無	15
	問 11 医療体制の満足度	16
	【自然環境の保全と地球温暖化対策の推進について】	
	問 12 自然環境の保全活動への参加	17
	問 13 節電の取り組み	18
	【国際交流の推進について】	
	問 14 外国人との交流	19
	【男女共同参画社会の実現について】	
	問 15 固定的な性別役割分担意識について	21
	問 16 男女平等について	22

【防災体制の整備・強化について】

問 1 7 災害に対して備えていること	23
問 1 8 防災情報の入手方法	24

【開かれた市政の推進について】

問 1 9 市政に関する情報を得られていると感じるか	25
----------------------------------	----

【防犯対策と安心で安全な消費生活の推進について】

問 2 0 犯罪に遭う不安	26
問 2 1 悪質商法などの消費生活に関する情報を得られているか	27

【公共交通ネットワークの整備について】

問 2 2 運転免許証の取得状況	28
問 2 3 真岡市内の公共交通は移動しやすいと思うか	28

1 調査の概要

(1) 調査の目的

真岡市総合計画 2025-2029 に掲げる施策を、より計画的かつ効果的に推進するため、各施策の市民満足度等の成果指標把握を目的とした調査を実施するものである。

(2) 調査対象地域

真岡市全域

(3) 調査対象者

市内に在住する満 18 歳以上の男女

(4) 抽出方法

無作為抽出

(5) 調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○P C より調査票に記載したU R L にアクセスし、回答フォームに回答

○Q R コードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

(6) 調査期間

令和 8 年 3 月 1 日～令和 8 年 3 月 27 日

(7) 回収状況

◇配 布 数 : 3,000 票

◇有効回収数 : 1,423 票

◇有効回収率 : 47.4%

※グラフ・文中の標記について

- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,423）である。
- 基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。
- ◇各設問において、次の略称を使用している。
 - SA（Single Answer）：シングルアンサー（一つだけ選択回答）
 - MA（Multi Answer）：マルチアンサー（複数選択回答）
- ◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入することから、それらの合計が100.0%にならないことがある。

※標本誤差について

- ◇この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$b=1.96\sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b＝標本誤差
N＝母数集団
n＝基礎・サンプル(回答者数)
p＝回答比率
1.96＝信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が1,423人で、回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.57%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が50%いた場合、真の値は95%の確率で47.4～52.6%の間にある、ということになる。

回答比率 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,423人	±1.54	±2.06	±2.36	±2.52	±2.57
1,300人	±1.61	±2.15	±2.47	±2.64	±2.69
1,200人	±1.68	±2.24	±2.57	±2.75	±2.80
1,100人	±1.76	±2.34	±2.69	±2.87	±2.93
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08

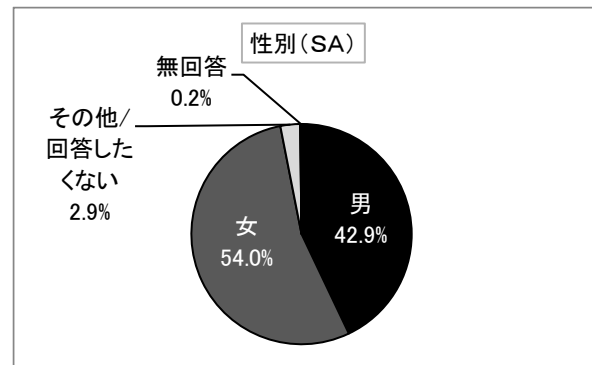
※令和8(2026)年4月1日現在における18歳以上の真岡市の人口66,627人を母集団として計算。
(真岡市住民基本台帳より)

2 調査の結果

【回答者の属性】

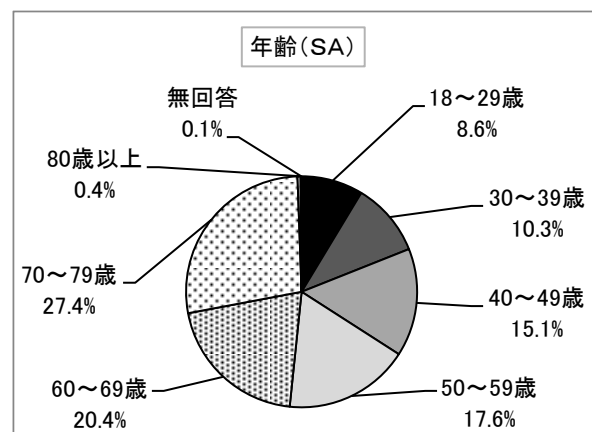
あなたの性別は。

性 別	回答数	構成比
男	611	42.9%
女	768	54.0%
その他/ 回答したくない	41	2.9%
無回答	3	0.2%
合 計	1,423	100.0%



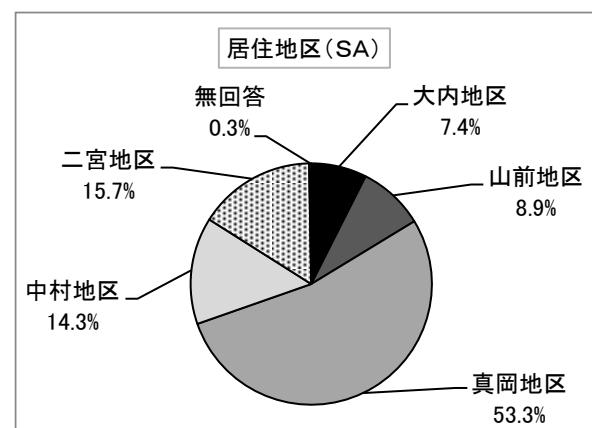
あなたの年齢は。

年 齢	回答数	構成比
18～29 歳	123	8.6%
30～39 歳	147	10.3%
40～49 歳	215	15.1%
50～59 歳	250	17.6%
60～69 歳	290	20.4%
70～79 歳	390	27.4%
80 歳以上	6	0.4%
無回答	2	0.1%
合 計	1,423	100.0%

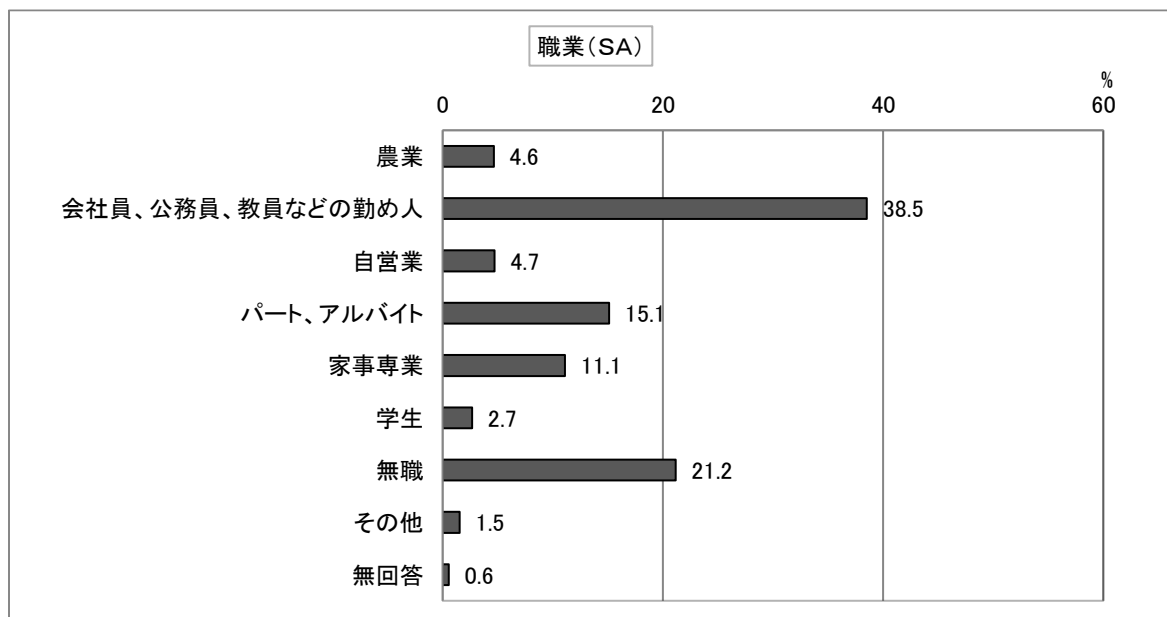


あなたの住んでいる地区は。

居住地区	回答数	構成比
大内地区	106	7.4%
山前地区	126	8.9%
真岡地区	759	53.3%
中村地区	204	14.3%
二宮地区	224	15.7%
無回答	4	0.3%
合 計	1,423	100.0%



あなたの主たる職業は。



職 業	回答数	構成比
農 業	66	4.6%
会社員、公務員、教員などの勤め人	548	38.5%
自 営 業	67	4.7%
パート、アルバイト	215	15.1%
家事専業	158	11.1%
学 生	38	2.7%
無 職	301	21.2%
その他	22	1.5%
無回答	8	0.6%
合 計	1,423	100.0%

【真岡市の満足度について】

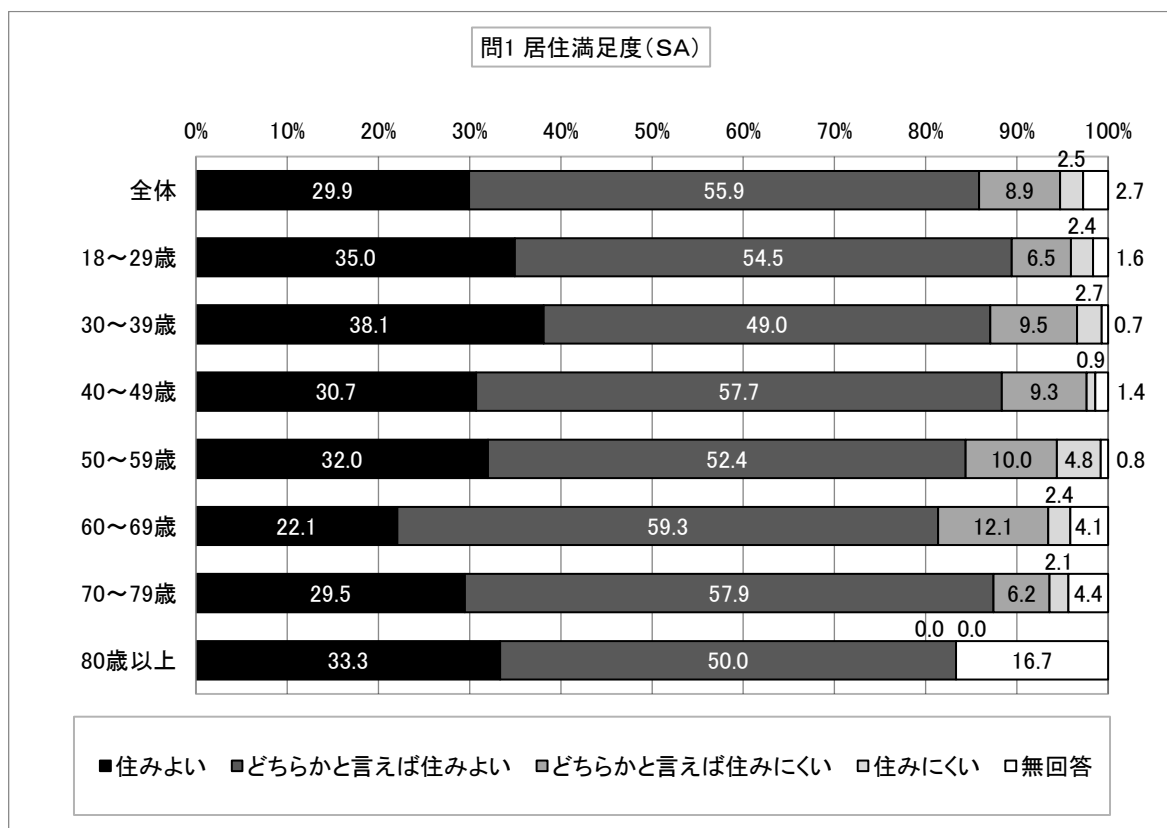
問1 あなたは、真岡市を住みよいまちだと思いますか。(○は一つ)

真岡市を住みやすいまちと思うについては、全体で「住みよい」「どちらかと言えば住みよい」を合わせた割合で85.8%の人が住みよいと思っている。

年齢別では、18～29歳89.5%が最も高く、次いで40～49歳88.4%、70～79歳87.4%の順で住みよいまちと思っている。

居住地区別では、中村地区88.3%が最も高く、その他の地区でも80%以上の人が住みよいまちと思っている。

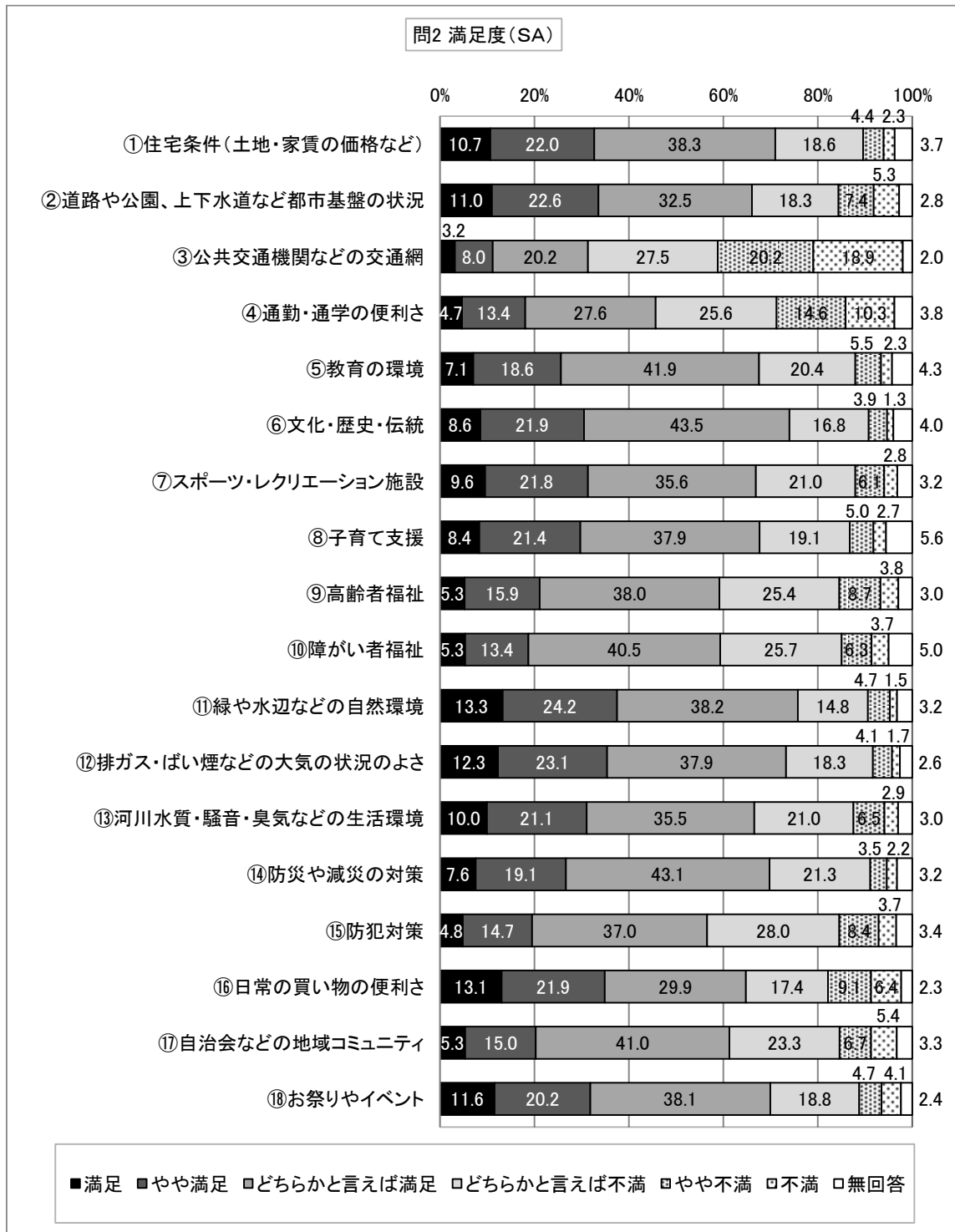
性別においては、大きな変化は見られなかった。



問2 あなたは、真岡市の次の項目について、日ごろ、どのように感じていますか。項目ごとに、満足度を6段階でお答えください。(項目ごとに○は1つ)

真岡市の施策(18項目)について、「満足」「やや満足」「どちらかと言えば満足」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑪緑や水辺などの自然環境」75.7%、次いで「⑥文化・歴史・伝統」74.0%、「⑫排ガス・ばい煙などの大気の状態のよさ」73.3%の順であった。

一方、「不満」「やや不満」「どちらかと言えば不満」を合わせた割合が最も高い項目は、「③公共交通機関などの交通網」66.6%、「④通勤・通学の便利さ」50.5%、「⑮防犯対策」40.1%の順であった。



<満足順位>

順位	項目	「満足」＋「やや満足」＋「どちらかと言えば満足」 (%)
1	⑪緑や水辺などの自然環境	75.7
2	⑥文化・歴史・伝統	74.0
3	⑫排ガス・ばい煙などの大気の状態のよさ	73.3
4	①住宅条件（土地・家賃の価格など）	71.0
5	⑮お祭りやイベント	69.9
6	⑭防災や減災の対策	69.8
7	⑧子育て支援	67.7
8	⑤教育の環境	67.6
9	⑦スポーツ・レクリエーション施設	67.0
10	⑬河川水質・騒音・臭気などの生活環境	66.6
11	②道路や公園、上下水道など都市基盤の状況	66.1
12	⑯日常の買い物の便利さ	64.9
13	⑰自治会などの地域コミュニティ	61.3
14	⑨高齢者福祉	59.2
15	⑩障がい者福祉	59.2
16	⑮防犯対策	56.5
17	④通勤・通学の便利さ	45.7
18	③公共交通機関などの交通網	31.4

〔成果指標〕 『排気ガス・ばい煙の状況』

	令和 8 年度
満足	12.3
やや満足	23.1
どちらかと言えば満足	37.9
合計	73.3

〔成果指標〕 『臭気・騒音・振動の状況』

	令和 8 年度
満足	10.0
やや満足	21.1
どちらかと言えば満足	35.5
合計	66.6

〔成果指標〕 『日常の買い物の便利さ』

	令和 8 年度
満足	13.1
やや満足	21.9
どちらかと言えば満足	29.9
合計	64.9

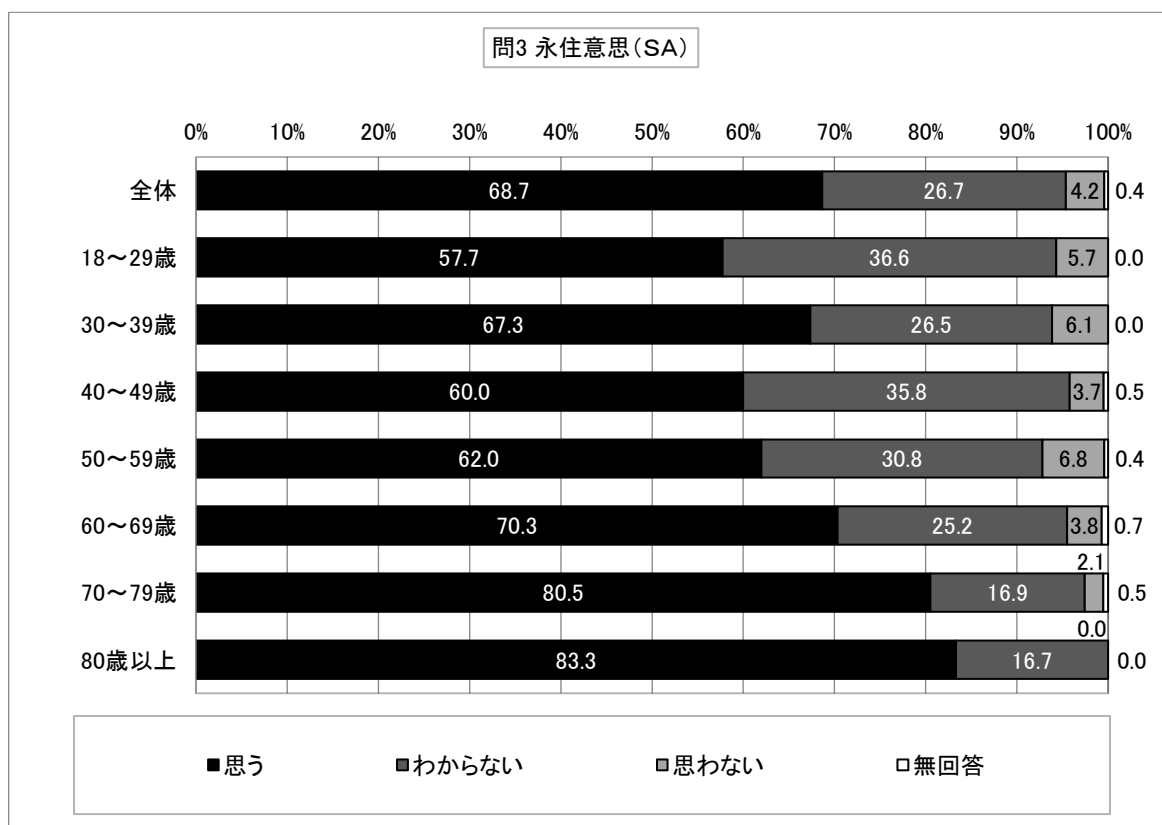
問3 あなたは、これからも真岡市に住み続けたいと思いますか。(○は一つ)

真岡市への永住意思については、住み続けたいと「思う」が68.7%であった。

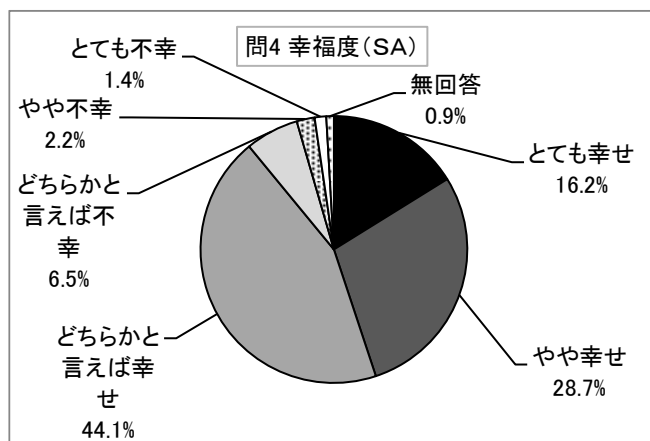
年齢別では、80歳以上83.3%が最も高く、次いで70～79歳80.5%、60～69歳70.3%の順であり、年齢が上がるに連れて真岡市に住み続けたいと思う傾向がある。

居住地区別では、山前地区77.0%が最も高く、次いで大内地区70.8%、中村地区70.6%であった。

性別においては、大きな変化は見られなかった。



問4 現在、あなたはどの程度幸せだと感じていますか。あてはまる数字に○をつけてください。(○は一つ)

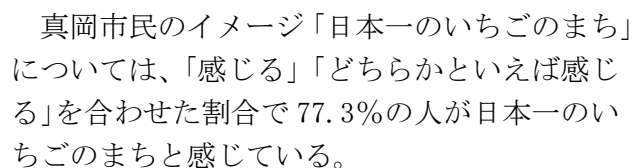


真岡市民の幸福度については、「とても幸せ」「やや幸せ」「どちらかと言えば幸せ」を合わせた割合で89.0%の人が幸せと感じている。

性別では、男性87.2%、女性91.1%であり、女性の方が3.9ポイント幸福度は高かった。

年齢別では、80歳以上100%が最も高く、次いで70～79歳91.3%、18～29歳90.3%の順で幸せと感じている。

問5 真岡市のイメージについて、「日本一のいちごのまち」と感じますか。(○は一つ)



性別では、男性 72.5%、女性 81.6%であり、女性の方が 9.1 ポイント高かった。

年齢別・居住地区別では、大きな変化は見られなかった。

(%)

	令和 7 年度	令和 8 年度
感じる	26.7	30.6
どちらかと言えば感じる	48.6	46.7
合計	75.3	77.3
前年度比	－	2.0

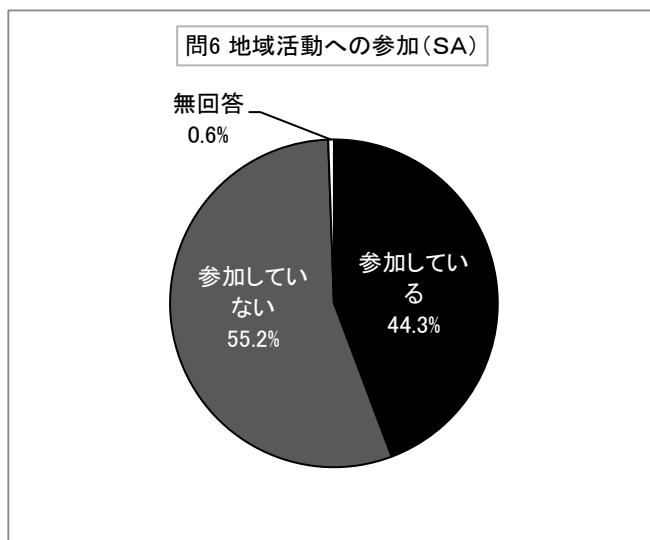
(%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
いちごのまち	51.0	63.1	56.0	59.1	58.1	59.8
前年度比	8.2	12.1	-7.1	3.1	-1.0	1.7

※令和6年度までは複数回答の中で「いちごのまち」と回答した人の割合を掲載していましたが、令和7年度から「いちごのまち」に限定した単一回答に変更しました。このため、令和6年度までよりも数値の変動があります。

【市民協働のまちづくりについて】

問6 あなたは、現在、地域の活動（自治会や地域公民館活動など）に参加していますか。
(○は1つ)



地域活動の参加については、「参加している」44.3%、「参加していない」55.2%であった。

性別では、参加している男性が 48.0%、女性が 42.1%であり、男性の方が 5.9 ポイント高かった。

年齢別では、50～59 歳の 50.8%が最も高く、次いで 40～49 歳 50.2%、80 歳以上 50.0%の順であった。

居住地区別では、「大内地区」60.4%が最も高く、次いで「山前地区」59.5%、「二宮地区」55.4%の順であった。

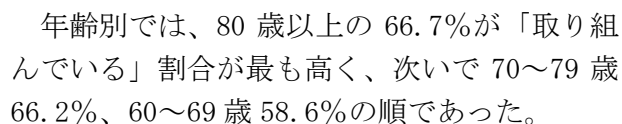
◆◆◆ 施策6-2 市民協働のまちづくり

〔成果指標〕 『まちづくり活動に参加している市民の割合』

(%)

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
参加している	46.4	46.3	43.9	49.0	47.4	44.3
前年度比	6.3	-0.1	-2.4	5.1	-1.6	-3.1

問7 あなたは、食生活や運動など、自分の健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)



(%)

	令和 7 年度	令和 8 年度
取り組んでいる	53.6	54.2
前年度比	-	0.6

問8 あなたは、健康づくりに関する次の言葉の意味を知っていますか。
 あてはまるものを1から3の中で1つずつ選んでください。(○は1つずつ)

① ロコモティブシンドローム

健康づくりに関する言葉の意味について、ロコモティブシンドロームを「知っている」割合は18.4%であった。

性別では、男性14.7%、女性21.4%であり、女性の方が6.7ポイント高かった。

年齢別では、80歳以上50.0%が最も高く、次いで70～79歳24.6%、60～69歳22.8%の順であった。

② フレイル

健康づくりに関する言葉の意味について、フレイルを「知っている」割合は28.2%であった。

性別では、男性21.4%、女性33.5%であり、女性の方が12.1ポイント高かった。

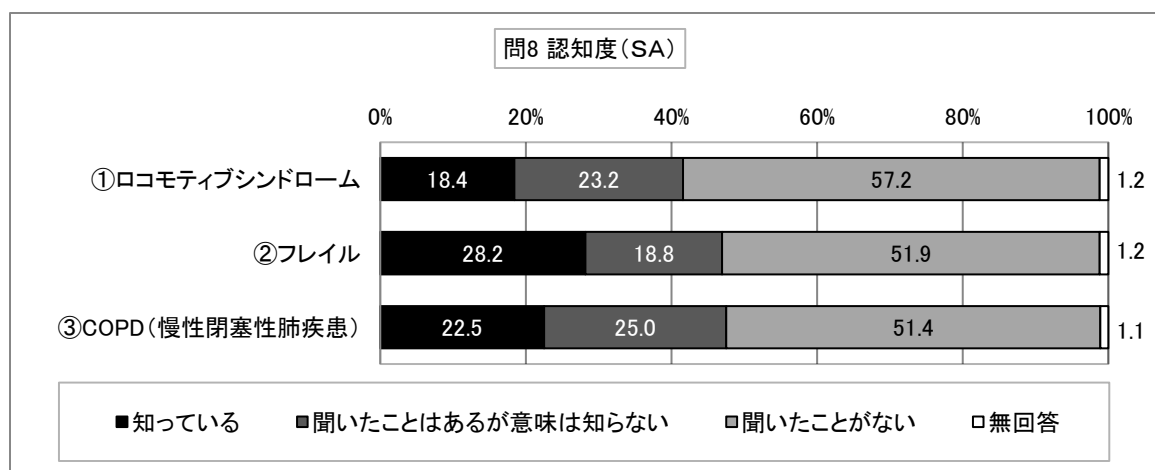
年齢別では、80歳以上66.7%が最も高く、次いで60～69歳35.2%、70～79歳34.6%の順であった。

③ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

健康づくりに関する言葉の意味について、COPD（慢性閉塞性肺疾患）を「知っている」割合は22.5%であった。

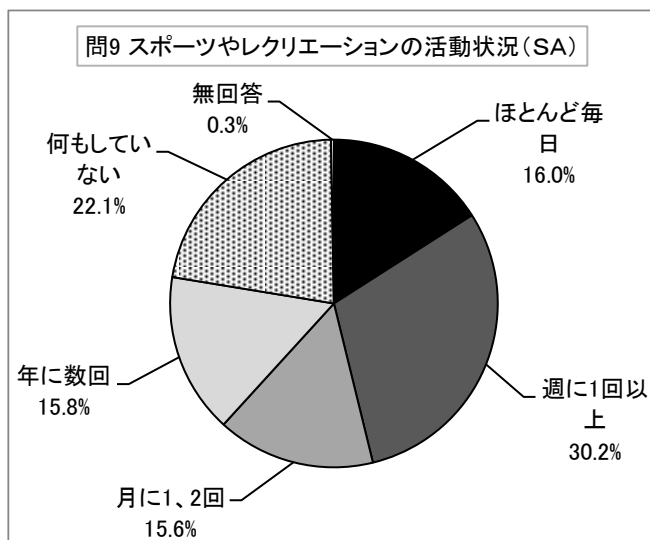
性別では、男性19.0%、女性24.6%であり、女性の方が5.6ポイント高かった。

年齢別では、80歳以上50.0%が最も高く、次いで40～49歳25.1%、60～69歳24.8%の順であった。



【生涯スポーツ・レクリエーションの振興について】

問9 あなたは、この1年間に、どのくらいスポーツやレクリエーションをしましたか。
(ウォーキング、ジョギングを含む) (○は1つ)



スポーツやレクリエーションの活動状況については、「週に1回以上」30.2%が最も高く、次いで「ほとんど毎日」16.0%、「年に数回」15.8%、「月に1、2回」15.6%の順であり、合わせた割合は77.6%であった。

性別では、男性 79.7%、女性 76.3%であり、男性の方が 3.4 ポイント高かった。

年齢別では、80 歳以上 100%が最も高く、次いで 18～29 歳 85.5%、60～69 歳 79.6%の順であった。

◆◆◆ 施策１－６ 生涯スポーツ・レクリエーションの振興 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

〔成果指標〕 『何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合』

(%)

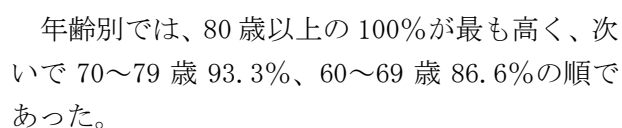
	令和 7 年度	令和 8 年度
ほとんど毎日	17.6	16.0
週に 1 回以上	28.6	30.2
月に 1、2 回	16.4	15.6
年に数回	14.8	15.8
合計	77.4	77.6
前年度比	-	0.2

(%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
行っている	55.5	57.4	60.3	59.5	61.2	59.1
前年度比	-3.0	1.9	2.9	-0.8	1.7	-2.1

※令和6年度までは、複数回答が可能な設問であり、100%から、何もしていない、無回答の回答率を差し引いた数値を行っている割合として算出しました。令和7年度から、スポーツやレクリエーションについて単一回答とし、取り組んでいる方の回答率を算出しているため、単純に令和6年度までと比較できるものではありません。

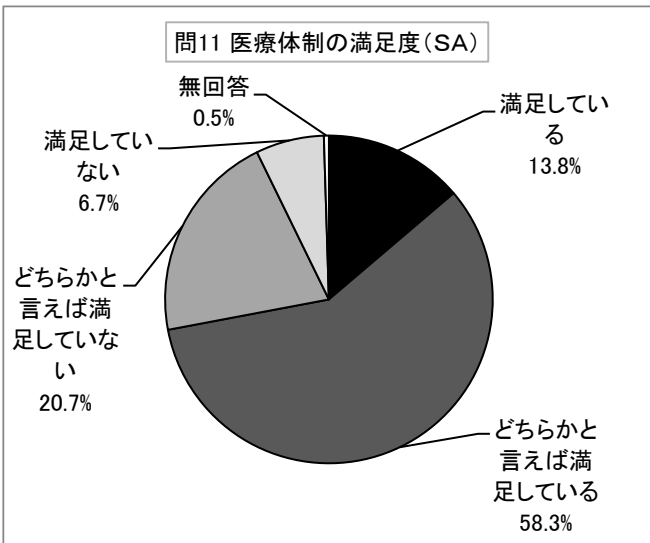
問10 あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。(○は1つ)



(%)

15

問 1 1 あなたは、真岡市内の医療体制に満足していますか。(○は1つ)



性別では、男性 73.5%、女性 71.6%であり男性の方が 1.9 ポイント高かった。

年齢別では、70～79 歳 84.3%が最も高く、次いで 80 歳以上 83.4%、18～29 歳 76.4%の順であった。

◆◆◆ 施策２－７ 地域医療体制の充実 ◆◆◆

〔成果指標〕 『市内の医療体制に満足している市民の割合』

(%)

	令和 7 年度	令和 8 年度
満足している	13. 4	13. 8
どちらかと言えば満足している	59. 4	58. 3
合計	72. 8	72. 1
前年度比	-	-0. 7

(%)

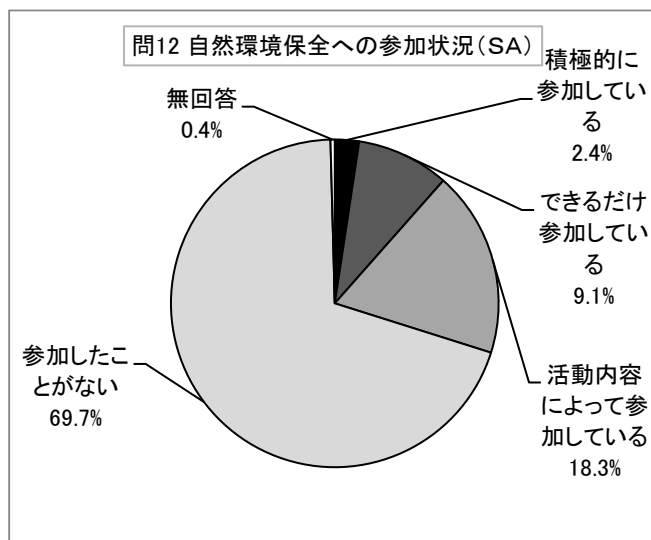
	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
適切な医療が受けられていると思う	28.1	30.4	29.7	31.8	29.1	31.1
どちらかと言えば思う	54.5	53.2	52.8	52.4	52.7	52.6
合 計	82.6	83.6	82.5	84.2	81.8	83.7
前年度比	2.5	1.0	-1.1	1.7	-2.4	1.9

※令和6年度までは、適切な医療が受けられていると（思う、どちらかと言えば思う）を成果指標として算出しました。

令和7年度から、上記の回答を満足度に変更したことで、令和6年度までと単純に比較できるものではありません。

【自然環境の保全と地球温暖化対策の推進について】

問 1 2 あなたは、里山保全活動や河川の草刈・清掃活動、動植物の生息地の保全や生き物調査など、市内の自然環境の保全活動に参加していますか。（○は1つ）



自然環境の保全活動については、「積極的に参加している」「できるだけ参加している」「活動内容によって参加している」を合わせた割合は29.8%であった。

性別では、男性 36.3%、女性 24.7%であり、男性の方が 11.6 ポイント高かった。

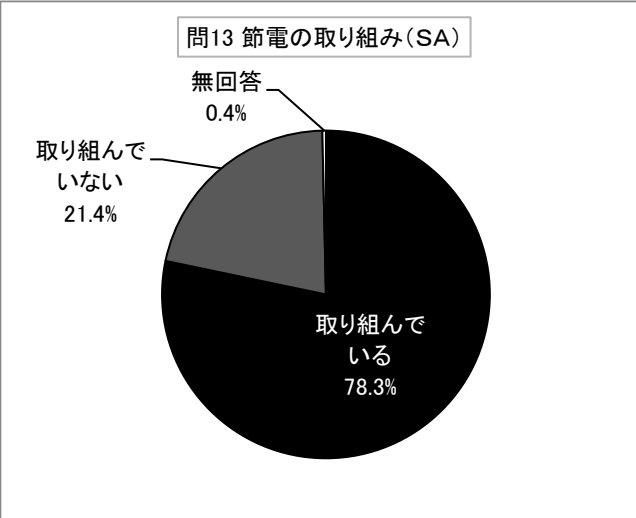
年齢別では、60～69 歳 38.2%が最も高く、次いで 70～79 歳 33.8%、80 歳以上 33.3%の順であった。

◆◆◆ 施策５－２ 自然環境の保全と地球温暖化対策の推進 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
〔成果指標〕 『具体的な行動を実践している市民の割合』

(%)

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
積極的に参加している	2.8	3.6	2.7	3.3	3.1	2.4
できるだけ参加している	8.7	8.3	12.9	10.0	9.2	9.1
活動内容によって 参加している	16.7	14.8	15.9	18.4	19.6	18.3
合 計	28.2	26.7	31.5	31.7	31.9	29.8
前年度比	5.7	-1.5	4.8	0.2	0.2	-2.1

問 13 あなたは、家庭で節電に取り組んでいますか。(○は1つ)



性別では、男性 75.3%、女性 80.9%であり、女性の方が 5.6 ポイント高かった。

年齢別では、70～79 歳 84.9%が最も高く、次いで 60～69 歳 84.8%、80 歳以上 83.3%の順であった。

◆◆◆ 施策５－２ 自然環境の保護と地球温暖化対策の推進 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕 『節電に取り組んでいる市民の割合』

(%)

	令和 7 年度	令和 8 年度
取り組んでいる	78.8	78.3
前年度比	-	-0.5

(%)

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
節電に取り組んでいる	54.5	53.8	53.6	57.9	62.7	62.8
前年度比	-7.3	-0.7	-0.2	4.3	4.8	0.1

※令和6年度までは複数回答の中で節電に取り組んでいると回答した人の割合を掲載していましたが、

令和7年度から、節電に取り組んでいるかどうか単一回答に変更しました。このため、令和6年度までよりも数値の変動があります。

【国際交流の推進について】

問 1 4 あなたは、外国人の方との交流がありますか。それぞれの項目に対して、1 から 3 の中で1 つずつ選んでください。(○は1 つずつ)

① 市内に住んでいる外国人の方との交流

外国人の方との交流については、「交流している」「たまに交流している」を合わせた割合は17.1%であった。

性別では、男性18.5%、女性16.3%であり、男性の方が2.2ポイント高かった。

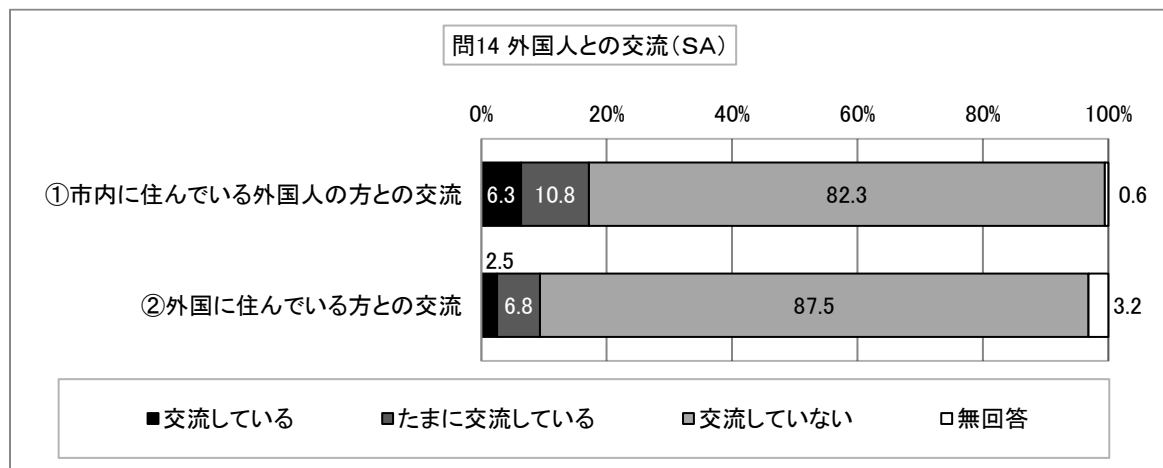
年齢別では、80歳以上の33.3%が最も高く、次いで30～39歳23.1%、40～49歳21.4%の順であった。

② 外国に住んでいる方との交流

外国人の方との交流については、「交流している」「たまに交流している」を合わせた割合は9.3%であった。

性別では、男性10.2%、女性8.7%であり、男性の方が1.5ポイント高かった。

年齢別では、30～39歳17.0%が最も高く、次いで40～49歳15.8%、18～29歳11.4%の順であった。



◆◆◆ 施策１－８ 国際交流の推進

〔成果指標〕 『国際交流をしている市民の割合』

① 市内に住んでいる外国人との交流

(%)

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
交流している	5.3	7.0	6.3
たまに交流している	8.2	10.4	10.8
合 計	13.5	17.4	17.1
前年度比	-	3.9	-0.3

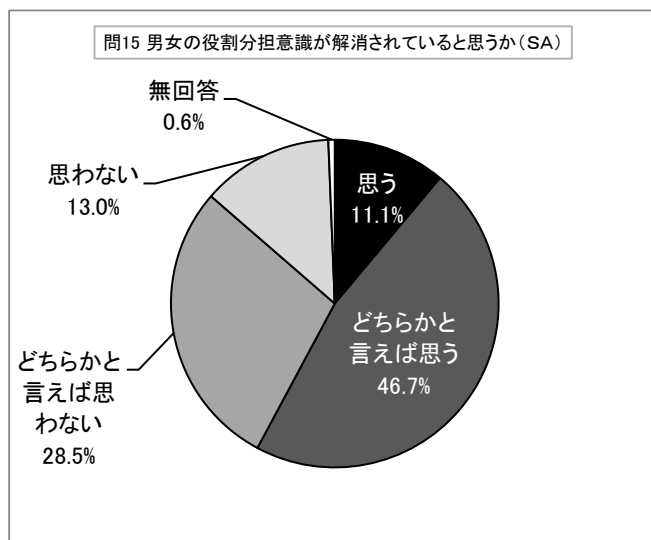
② 外国に住んでいる人との交流

(%)

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
交流している	2.8	2.9	2.5
たまに交流している	4.8	5.7	6.8
合 計	7.6	8.6	9.3
前年度比	-	1.0	0.7

【男女共同参画社会の実現について】

問 15 あなたは、真岡市において男女の固定的な役割分担意識（「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」などの考え方）は解消されていると思いますか。（○は1つ）



男女の固定的な役割分担意識の解消については、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は57.8%であった。

性別では、男性 62.0%、女性 55.9%であり、男女間に 6.1 ポイントの差異が見られる。

年齢別では、30～39 歳 63.3%が最も高く、次いで 18～29 歳 61.8%、70～79 歳 59.0%の順であった。

◆◆◆ 施策6-3 男女共同参画社会の実現 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

〔成果指標〕 『男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じる市民の割合』

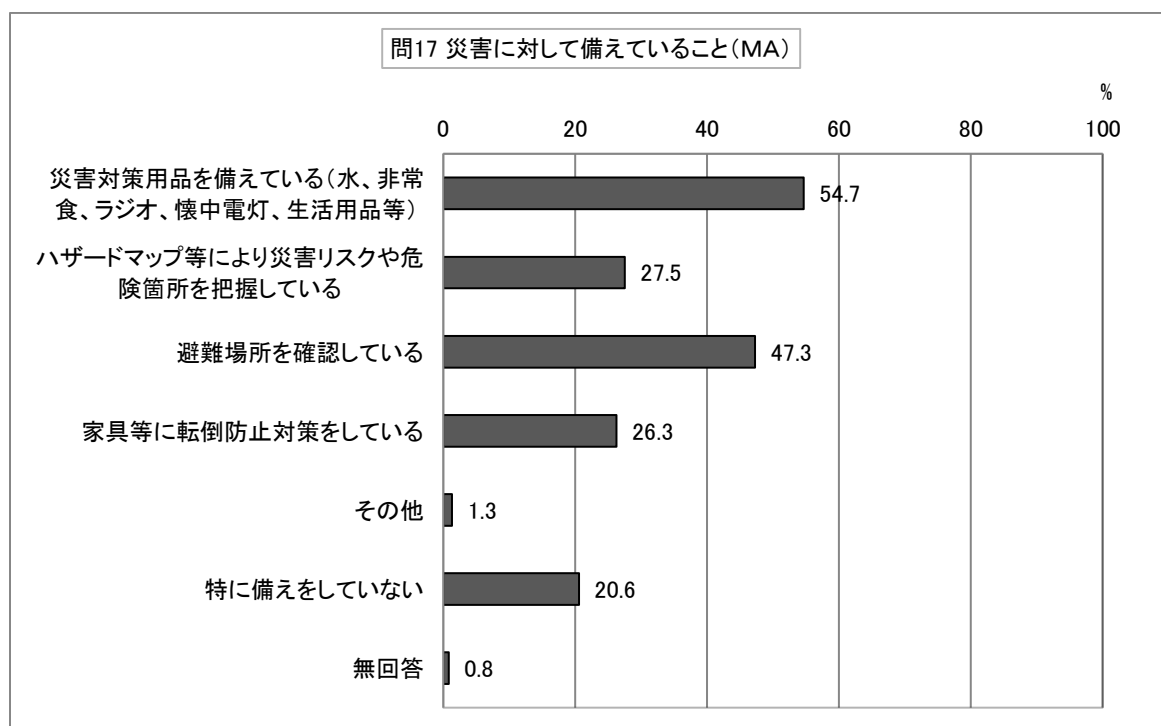
(%)

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
思う	11.6	11.0	11.9	12.5	10.8	11.1
どちらかと言えば 思う	40.5	43.5	39.8	42.5	41.1	46.7
合計	52.1	54.5	51.7	55.0	51.9	57.8
前年度比	-2.1	2.4	-2.8	3.3	-3.1	5.9

【防災体制の整備・強化について】

問 17 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

災害に対しての備えについては、「災害対策用品を備えている（水、非常食、ラジオ、懐中電灯、生活用品等）」54.7%が最も高く、次いで「避難場所を確認している」47.3%、「ハザードマップ等により災害リスクや危険箇所を把握している」27.5%の順であった。

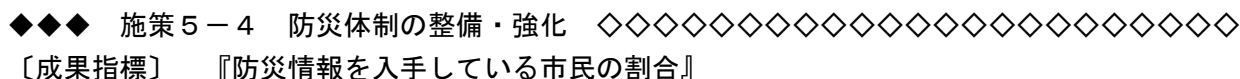
[illegible]

(%)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
備えを行っている	71.7	74.6	78.2	78.6
前年度比	-	2.9	3.6	0.4

※「災害に対する備えを行っている市民の割合」は無回答を含めた全体から、「特に入手していない」、「無回答」の割合を差引いた数値を成果指標として算出しました。

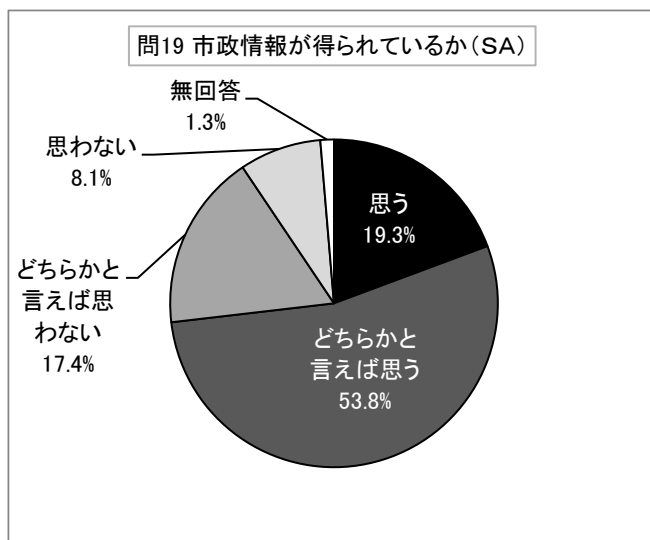
防災情報の入手方法については、「スマートフォン（市ホームページ、市公式アプリなど）」66.8%が最も高く、次いで「テレビ・AM/FM ラジオ」61.6%、「防災行政無線」32.0%の順であった。



※「防災情報を入手している市民の割合」は無回答を含めた全体から、「特に入手していない」、「無回答」の割合を差引いた数値を成果指標として算出しました。

【開かれた市政の推進について】

問 19 あなたは、広報紙等により、市政に関する情報が得られていると思いますか。
(○は1つ)



市政情報が得られているかについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は73.1%であった。

性別では、男性 68.6%、女性 78.0%であった。

年齢別では、70～79 歳 78.7%が最も高く、次いで 60～69 歳 75.5%、50～59 歳 72.8%の順であった。

[illegible]

〔成果指標〕 『市政に関する情報を得られていると感じている市民の割合』

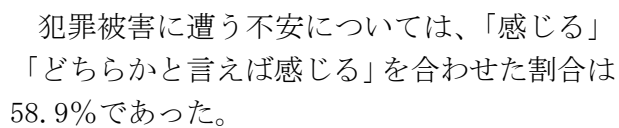
(%)

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
感じている	14.7	15.7	14.5	13.7	17.5	19.3
どちらかと言えば 感じている	47.6	50.4	50.5	49.4	55.1	53.8
合計	62.3	66.1	65.0	63.1	72.6	73.1
前年度比	-1.9	3.8	-1.1	-1.9	9.5	0.5

※令和6年度までは、市政に関する情報を得られていると（感じている、どちらかと言えば感じている）を成果指標として算出しました。

令和7年度から、上記の回答を（思う、どちらかと言えば思う）に変更し、感じている、どちらかと言えば感じているに置き換えて一つの表としてまとめています。

問 20 あなたは、真岡市内で何らかの犯罪被害に遭う不安を感じますか。(○は1つ)



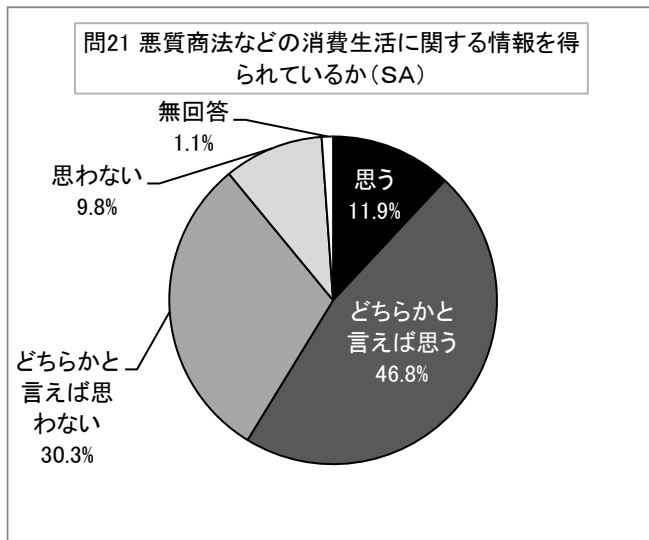
年齢別では、30～39 歳 65.3%が最も高く、次いで 60～69 歳 63.1%、50～59 歳 61.2%の順であった。

居住地区別では、「山前地区」63.5%が最も高く、次いで「大内地区」63.2%、「二宮地区」58.9%の順であった。

〔成果指標〕『犯罪に不安を感じている市民の割合』

	(%)					
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
感じる	14.3	10.0	11.2	10.9	19.1	18.6
どちらかと言えば 感じる	34.9	33.9	36.4	35.1	42.1	40.3
合計	49.2	43.9	47.6	46.0	61.2	58.9
前年度比	-3.8	-5.3	3.7	-1.6	-15.2	-2.3

問 2 1 あなたは、悪質商法などの消費生活に関する情報を得られていると思いますか。
(○は1つ)



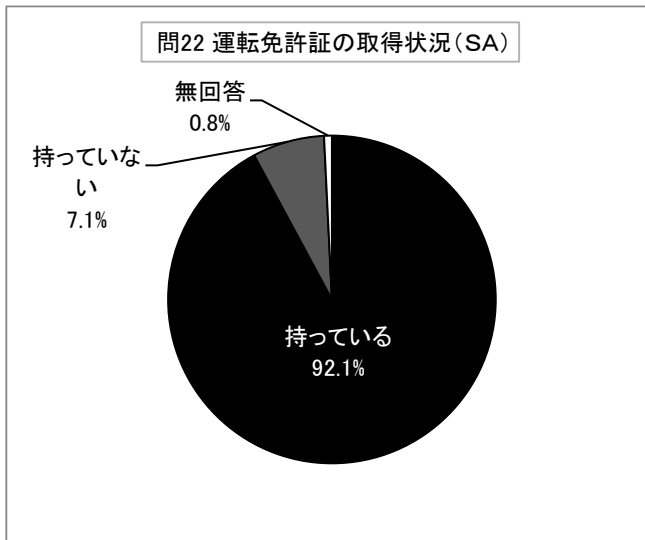
悪質商法などの消費生活に関する情報を得られているについては、「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は58.7%であった。

性別では、男性 53.6%、女性 63.8%であった。

年齢別では、80 歳以上 83.4%が最も高く、次いで 70～79 歳 70.8%、60～69 歳 68.6%の順であった。

【公共交通ネットワークの整備について】

問 2 2 あなたは、運転免許証を持っていますか。(○は1つ)



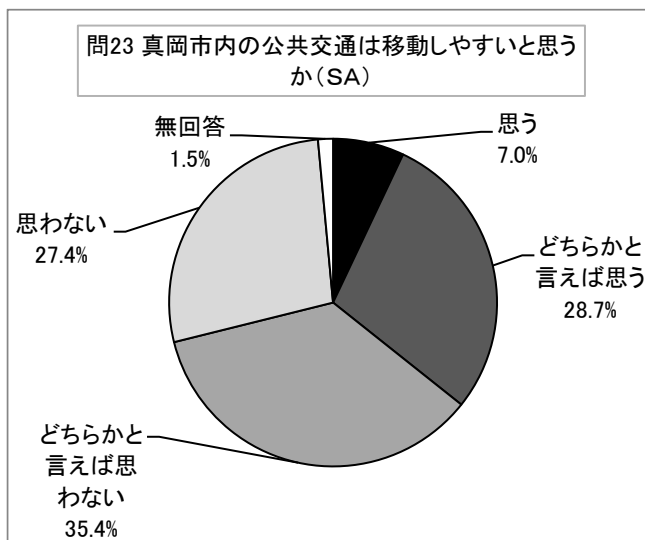
運転免許証の取得状況については、「持っている」が92.1%であった。

性別では、男性94.4%、女性90.2%であった。

年齢別では、50～59歳98.0%が最も高く、次いで30～39歳97.3%、40～49歳96.3%の順であった。

問 2 3 日常生活（通勤・通学、通院、買い物等）を中心とした市内の移動において、真岡市内の公共交通※は移動しやすいと思いますか。(○は1つ)

※いちごタクシー、いちごバス、もおかベリー号、真岡鐵道、路線バス、民間タクシー



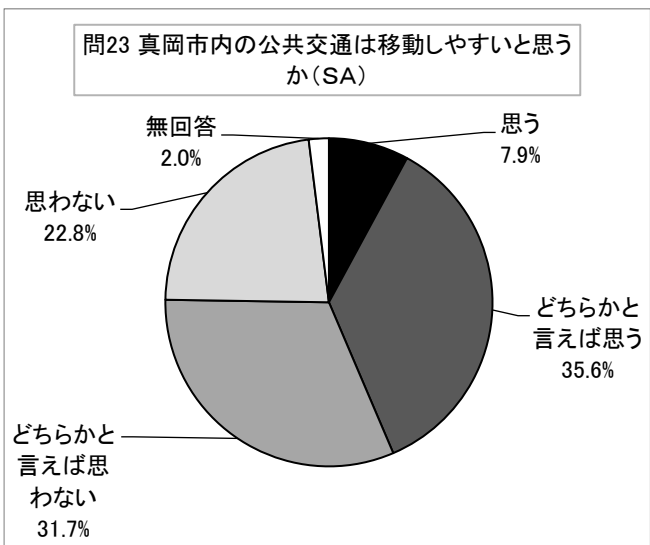
市内の公共交通を移動しやすいと「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は35.7%であった。

性別では、男性35.2%、女性36.7%であった。

年齢別では、70～79歳43.0%が最も高く、次いで30～39歳41.5%、18～29歳38.2%の順であった。

居住地区別では、「真岡地区」41.5%が最も高く、次いで「中村地区」34.8%、「二宮地区」29.9%の順であった。

(参考) 問22で「免許を持っていない」と回答した人が問23で回答した割合



問 2 2 で「免許を持っていない」と回答した人のうち、市内の公共交通を移動しやすいと「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせた割合は 43.5%であった。

◆◆◆ 施策４－４ 公共交通ネットワークの整備 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〔成果指標〕『免許を持たない人が、移動しやすいと感じている人の割合』

(%)

	令和 8 年度
思う	7.9
どちらかと言えば 思う	35.6
合計	43.5

令和 8 (2026) 年度
施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査（市民アンケート調査）報告書
令和 8 (2026) 年 6 月

編集・発行 真岡市総合政策部総合政策課
〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191
TEL : 0285-83-8102
FAX : 0285-83-5896
E-mail : sougouseisaku@city.moka.lg.jp
<https://www.city.moka.lg.jp>
